

第5期第9回あま市まちづくり委員会会議録要旨

と き 令和4年3月24日（木）
午後2時～午後3時15分

ところ あま市役所本庁舎 2階 大ホール

1. 出席者等

委 員	9名
事務局	5名
市民活動センター	1名

2. 議題

（1）「協働のためのルールブック（案）」のレイアウトについて

○委員長

- ・事務局から資料の説明をお願いします。

○事務局

（資料1及び資料2に基づき説明）

- ・前回の委員会で頂いた意見に基づきルールブックのレイアウトを修正した。

○委員長

- ・レイアウトの修正について意見があれば伺う。

（意見なし）

○委員長

- ・ルールブックについては、事務局案のとおり確定することによろしいか。

（異議なし）

○委員長

- ・事務局案のとおり確定する。

（2）第6期あま市まちづくり委員会のテーマについて

○委員長

- ・事務局から資料の説明をお願いします。

○事務局

（資料3に基づき説明）

○委員長

- ・第6期の委員会について、どんなテーマで、どういうふうに関わっていくのかに

ついて御意見を頂き、今期の委員会の意見としてお伝えしたい。

- ・おひとりずつ、今期の委員会の活動を踏まえ、次期の委員会の関わり方について御意見を頂きたい。

○委員

- ・最初は協働についてあまり理解していなかった。委員会で勉強させていただきながらルールブックという形になって、とても有意義な時間を過ごせた。
- ・ルールブックをどれだけ知ってもらうか、実際にこれを使って協働を進められるかサポートしていく必要がある。
- ・協働のことを全く知らない人にどれだけ参加していただけるかが重要であると思う。
- ・協働やコミュニティについて全くの素人でも参加できるような会になればいいと思う。

○委員

- ・ルールブックを市民に活用してもらうにはどうしたらいいかが重要であると思う。
- ・例えば高齢者のサロンなどに行って説明できたらよいのではないか。

○委員

- ・この委員会は、地域で活動をされている方を知る、いいきっかけになった。
- ・市民活動団体があることすら知らない市民が多いと感じている。市民活動をもっと身近に感じてもらい、参加するためのハードルを下げられるとよいと思った。
- ・市民活動センターがどういう施設か分からない方が多い。センターの在り方についても協議できるとよい。

○委員

- ・ルールブックを皆で作ったので、これを主体にしたテーマにしていればよいと思う。

○委員

- ・ルールブックは協働を始めようというときに使われるものであるので、市民全員に知ってもらう必要はないと思う。ちゃんとやろうと思ったときにルールブックは必ず必要であると思う。
- ・まちづくり委員会として、市からのテーマで活動するのはそろそろ卒業してもよいのでは。もっと市民のほうからテーマを提案してやっていってもよいのではと思う。

○委員

- ・市民活動センターがやっているまちづくりサロンのように、やりたいことを一緒にやるというようなことができるとよいと思う。
- ・あま市に長く住みたいと思ってもらえるよう、市と市民の協働で若い世代にアプ

ローチできるとよい。

○委員

- ・まちづくり委員会でいろいろな勉強をさせてもらった。それを生かせるような人になりたい。いろいろ段階を踏んでやっていくのがよいと思う。

○委員

- ・ルールブックを作った以上は、どこに配って、どうやって活用してもらうかを考えていただきたい。

○委員長

- ・ルールブックを活用していこうという意見と、ルールブックが活用されるような状況をどうやって作っていくかも含めて考えるという意見であった。
- ・皆が暮らしやすいまちをつくるために必要なことを、自分たちでやっていくという感覚を広めていくことも大事だと思う。
- ・アイデアを出して実行する。実行して検証し、こういう効果があったのでもっと広めようというような提言ができる委員会になるとよいと思う。